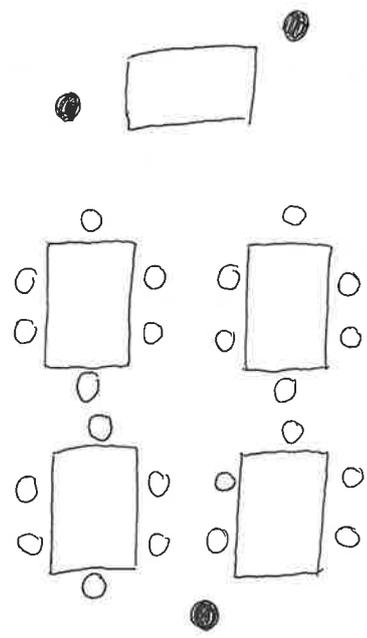


実施クラス	実施日	実施保育者名
3~5 歳児 <small>すずめ</small> クラス 組	/ 月 / 5 日 (木)	長内

● 実施計画

活動テーマ		環境設定・準備物
生きものってなに？ お家でかえる？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 知っている生き物を英語で紹介し、鳴き声を考える。 ・ ECCの慣れ親しみトピックで、テーマ以外の部分でも英語で言葉をうとしている。 		
活動スケジュール		環境設定・準備物
時間	内容	
9:05	◎ ECCの内容を振り返る ・ dog, cat, pig など フラッシュカード	
9:15	◎ グループで動物の鳴き声 考える ・ 「ワンワン」「ニャーン」「フーフ」...	
9:25	◎ 答え合わせ ・ 動物を英語で言った後、鳴き声を発表する → 知らない鳴き声を知る 馬とシマウマは違う鳴き声？	
9:35	◎ まとめ ・ 動物と鳴き声を英語で話す。	



● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>ECCで取り組んでいる内容をもとに、 生き物について英語語を考えた。り、 その生き物の鳴き声を考えた。りして グループワークで取り組む、 話し合った内容を、動物カードに 書き記して。り 最後にグループの解答を発表し、 全員で答え合わせをして。り</p>	<p>グループワークにして、平仮名が 書ける人、知識が豊富な人、話し合いを 進めたりまとめたりする人等、年長児を 中心にして、導員が率先して取り 組んで。り 簡単な動物から、難しい動物まで 幅広く鳴き声を考えた。り、「わからない」 「難しい」との声もあったが、「予想は？ どんな感じか」と思う？」と問いかけて、再び 考えた。りさせて最後に取り組んで。り</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>探究活動の意味合いは理解していない が、ECCから英語語の延長線上にあることは 小慣れてきた。り、導員が意図的に 導員分野を話し合うことで それぞれが、それぞれの達成感を味わえ て。り</p>	<p>異年齢のグループで考え合うことで、様々な 意見が出て、よい活動の流れになったと 思う。保育者がより深く考えられるよう 助言してあげること、難しいことで終わら ず、考えぬく力を育てていくのだと 思う。とても良い関わり方だと思つので、 この調子で来月も楽しく活動を進め て下さい。</p>